

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年08月21日

計画の名称	五所川原市の下水道における防災・安全対策の実現（重点計画）														
計画の期間	令和06年度～令和07年度（2年間）										重点配分対象の該当	○			
交付対象	五所川原市														
計画の目標	市街地等における浸水被害の軽減を図るため浸水シミュレーションによる内水浸水想定区域図等の作成及び住民への水害リスク情報の整備を行い安全・安心な暮らしを実現する。														
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		25	A	24	B	0	C	1	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A+B+C+D）	4	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6当初		R7未
1	内水ハザードマップの配付率を0%（R6）から100%（R7）にする。			
	内水ハザードマップの配付率	0%	%	100%
	内水ハザードマップを配付した世帯 / 内水ハザードマップを配付すべき世帯			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	五所川原 市	直接	五所川原市	-	-	浸水対策事業	浸水想定区域図作成・内水ハ ザードマップ作成	五所川原市	■	■				24		-
											小計						24		
											合計						24		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	五所川原 市	直接	五所川原市	-	-	浸水対策事業	内水ハザードマップ印刷	五所川原市			■				1	-
		内水ハザードマップの印刷を行い、住民へ配付することにより、災害時における住民の適切な対応を促し、浸水被害の軽減を図る																	
												小計						1	
											合計							1	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

上下水道部内にて事後評価を実施

事後評価の実施時期

事業終了後

公表の方法

五所川原市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

本市で想定し得る最大規模の降雨に対応した内水浸水想定区域及び水害時の避難所等を掲載した内水ハザードマップを作成し、配布または市ホームページで公表したことにより、市民等が本市の水害特性や水害時の避難行動等を学習し、災害時には適切な情報を入手して安全な避難行動をとることができるようになった。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

内水氾濫に対する日頃からの備えや対策、避難行動等について引き続き周知するとともに、必要に応じてマップの見直しや更新・改訂を行う。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	内水ハザードマップを配布した世帯 / 内水ハザードマップを配布すべき世帯		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	